

GP メルボルン 2016 参加記



2016/3/4 (金) -2016/3/6 (日)

Melbourne Park Function Center

目次

この本について	2	2016 年 3 月 5 日 (土)	
GP メルボルン 2016 について	2	GP 本戦の朝	23
GP メルボルン 2016 への参加を決め、航空券を購入	3	会場入り	24
GP メルボルン 2016 の参加オプション	4	本戦バイ明け待ち	24
エルドラージ構築	5	本戦開始	25
		レベッカ天使プレイマットのお値段	27
2016 年 3 月 3 日 (木)		もしかして G P 初日通過 ?	28
出発の朝	6	夕食は 350g ステーキ	30
ジェットスターの洗礼を受ける	6	ホステルに戻る	31
メルボルンまでのフライト	7	ジェットスターの荷物増量	32
通信確保と両替	8		
深夜のチェックイン	8	2016 年 3 月 6 日 (日)	
		スーパーサンデーシールドの朝	33
2016 年 3 月 4 日 (金)		会場へのハイキングコース	34
クイーン・ビクトリア・マーケット	10	スーパーサンデーシールド開始	34
会場発見	12	スーパーサンデーシールド対戦開始	36
VIP エントリーを済ませる	12	OGW ドラフトで全勝	37
昼食はサンドイッチ、夕食もサンドイッチ	14	もう 1 回 OGW ドラフト	39
LGPT シールド ポッド 1	14	ブライズ・ウォールで交換できる賞品は…	39
OGW ドラフト	16	Mox Opal のプレイマットをゲット	40
Foiled Again ドラフト	17	夕食はカンガルーのステーキ	40
リバーサイドのバーで夕食	19	メルボルンのエロ本	42
夜のメルボルン	21	じゅうたん商人	43
えくすきゅーずみーおじさん	22		
GP 金曜日終了	22		

2016年3月7日（月）

観光日	44	そうだ、カジノ、行こう	52
QVで朝食	44	カジノ前のバーガーショップで夕食	53
BIG W	46	空港へ	54
ホステルへ戻り、チェックアウト	46	通信再開	54
サザンクロス駅のコインロッカーを利用	47	出国手続き	55
フリートラムに挑戦	48	離陸	55
メルボルン博物館	49		
博物館を出る	51	2016年3月8日（火）	
メルボルン・セントラル駅	51	帰国と日常	56

この本について

本書は2016年3月4日（金）～6（日）にかけて Melbourne Park Function Center で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GPメルボルン2016）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記は原則として通貨のAUD(豪ドル)で行いました。

この時期は為替が乱高下しており、おおむね1 AUDは80～85円くらいでしたが、感覚的には80円と思って使っていました（予想より出費が多くなったかも）。

GPメルボルン2016について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、

GP（Grand Prix;グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に3回ほど開催されます（2015年から日本では年に4回開催されることになりました）。

GP メルボルン 2016（※1）は、メルボルンで 2016 年に開催された大会ということになります。ChainLinks Event（※2）が主催しました。

※1 <http://melbourne.cleventsgp.com/>

※2 <https://www.facebook.com/cleventsgp/>

GP メルボルン 2016 への参加を決め、航空券を購入

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GP にはお金や有休に余裕があれば参加することを基本にしているので、GP メルボルンは片道 10 時間と「いささか遠い」うえにモダンの GP であるため、2015 年の 8 月に「2016 年の GP リスト」が発表された時点では、参加は**眼中にありません**でした。

ところが 2015 年の 12 月 16 日、3 月開催の GP メルボルンに「本戦参加者にレベッカのセラ天使」プレイマットが配布されるという情報が入りました。このためプレイマットに目がない自分としては、にわかに参加を検討し始めます。そして総費用と有休残を計算しつつ 5 日ほど悩んだ末に参加を決定しました。たとえリミテッド GP であっても 2 日目に残れずスーパーサンデーシールドに出るのも普通である自分としては、構築 GP でも別にこだわらず**本戦は捨てて**プレイマット目当てだけで参加するのもありなのではないか？と考えたためでもあります（笑）。

フライトはメルボルンまでの直行便があり時間も悪くない LCC ジェットスター（※3）で確定し、GP メルボルンの参加申し込みもし、宿は Booking.com（※4）でキャンセル代無料の会場近くの場所をとりあえず押さえました。ただしここは後に再考して市内にあるエリザベス・ホステル（※5）に変更しました。

※1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の高くない所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。

※3 <http://www.jetstar.com/jp/ja/home>

※4 <https://www.booking.com/>

※5 <http://www.booking.com/hotel/au/elizabeth-hostel.ja.html>

GP メルボルン 2016 の参加オプション

最近の GP では、本戦参加のみならず「スリープイン」サービスや VIP 等のオプションがつくのが慣例であり、GP メルボルンもその例外ではありませんでした。

このため自分も GP メルボルンのサイトでプレイヤーのオプションを確認しました。

基本	90AUD	・ GP メルボルン 2016 本戦参加権 ・ レベッカのプレイマット ・ ID カード ・ 《石鍛冶の神秘家》の本戦プロモ
スリープイン	120AUD	・ 「基本」の獲得できるものすべて ・ スリープイン・サービス
VIP	250HKD	・ 「スリープイン」の獲得できるものすべて ・ VIP 専用プレイマット ・ プレミアラウンジ使用权 ・ VIP 専用ペアリング ・ GP サバイバルキットを 1 日 1 個配布 - 日替わりプレイマット (Playmat of the Day) - スリーブ 100 枚 - スナック食 - ライフメモ - ペン ・ アーティスト 3 人のサイン優先券 ・ VIP 専用サイドイベント受付列

とりわけ「面白いな」と思ったのは「日替わりプレイマット」入りの「GP サバイバルキット」の存在でした。ここは重要なので主催にオンラインで確認したのですが、この「日替わり」というのは金曜日も含むサイドイベントで配るものであることと、金・土は同じマットだが日曜は別のマットで VIP 専用マットはそれらとは別…つまり、VIP に申し込むことで**確定的に 3 種 4 枚のプレイマットが入手できる**ようです。

VIP とスリープインの価格差は 130AUD (1 万円ちょっと)。過去の GP では程度の差はあれそれなりに VIP のメリットも享受しており、こりゃあ悩むまでもないなということで自分は即座に VIP で本戦に申し込みました。

エルドラージ構築

自分は普段もあまり構築をやらない人間だったので、GPメルボルンに申し込んだもののそれほど真面目に本戦を戦うつもりはなく、最悪「島60枚」のデッキリストを提出して参加賞を貰ったらさっさとBYE明けにドロップして土曜もサイドイベントに興ずるのもありだよな…とか思っていたものです。

ところが2016年2月のプロツアー「ゲートウォッチの誓い」で青赤エルドラージが優勝すると、《ウギンの目》と《エルドラージの寺院》を4積みしたエルドラージはやばいという評価が一気に広まり、事実これらを積んだ高速エルドラージデッキが瞬く間に各地で実績を出し始めます。これらの土地は当初「ウラモグやコジレックやエムラクールを高速で出す」ようなファンデッキ用と考えられたフシがあるのですが、実際には1ターン目に複数の《エルドラージのミミック》を出してから2ターン目に《難題の予見者》を出して相手の手札の対策カードを1枚除いたうえで複数の4/4が攻撃するようなチートな動きが可能だったのです。

これに皆が気がついてからは、エルドラージは無色がベースのデッキであることもあり、ほどなく赤緑や黒緑や白青などの各種のバリエーションもモダン環境を席卷しました。

2月下旬のモダンは「エルドラージかエルドラージを食うデッキしか残れない」とさえも言われる**糞**な環境になったのでした。

ここに至って自分はアップを始めます。つまり従来の自分の構築は、それほどメタを勉強しているわけでもないのに適当な俺デッキを作って臨み（当然の）惨敗というのがある種パターンだったわけですが、この環境は**完コピの右手デッキ**であれば運が味方すればそこそこの成績を残せるのではないかと…という欲が出てきたためです。

このため一番右手っぽいリミテッドで使い慣れたカードも多い「青赤エルドラージ」をコピーすることにしてカードを探すと、キーの8枚土地やチャリスを含めてほとんどのパーツはあり、残りも借りれば何とかなる感じ。

メインは何も考えずに完コピ、サイドボード15枚も直前に「《崇拝》対策はしたほうがいいのかも」とアドバイスを受けて少々直した以外は基本は完コピでした。

そして知人からレベッカのプレイマットの購入依頼を受けたり、余剰高額レアをリストにして荷物に加えるなどの準備を終えるうち、いよいよ出発の日になりました。

2016年3月3日（木） 出発の朝

朝食を済ませて午前9時前、カラコロを引いて家を出る。なにごともなく9時10分過ぎには駅に到着し、9時30分のエアポート成田に乗る。九州から成田の便が遅れて九州のメルボルン行き勢が息をしてないという話を横目に、10時41分に空港第2ビル駅に到着。第3ターミナルへのシャトルバスで移動のち、11時過ぎにジェットスターの国際線カウンターに10人ほどの列に並ぶ。ここまではまあ予定通り。さわけんら3人が居たので、立ち話。

ジェットスターの洗礼を受ける

しかしチェックインカウンターで荷物の重さを量ると「7kgまでのところ9kgあります。申告していないので追加料金を」と言われる。まあ仕方ないかと思っていくな、と思って聞くと**1万6千円**ですと言われて盛大に吹く。えっ、2kgで？ たっかいなーと言うと「15kgまでは一律この追加料金です」と眉ひとつ動かさずに言う女性係員。いささか呆然としつつ、そのまま支払いカウンターへと並ぶ。自分の前にトモハレさんが並んでいたので挨拶をしつつ「いやジェットスター超過料金たっかいすねー」とか今回のGPのメタの話などをするうち「あ！よく考えたらたった2kgだったらいま背負ってるこのリュックサックに移せば楽勝だったじゃん」と気がつき、一応係員に言ってみるも「もう荷物がレーンに入ってしまったので無理です」と言われる。ま、そうだよな…。

払ってしまった1万6千円よりも、即座にこれに気がつけなかった自分のミスを悔やむ。…しかし4kgの超過を「パソコンが入ってるなら除外計算なのでOKです」とにっこり笑って通してくれた去年の香港エクスプレスや2年前のエアアジアの神対応は求めないにしても、アドバイスのひとつも欲しかったなジェットスター。LCCはそこで利益を取るモデルなのは分かっているけどさー。ともあれ帰りは忘れずに、ネット予約で手荷物増量オプションを多めに申告せねば。

メルボルンまでのフライト

そしてセキュリティとイミグレを通ったので「あまり時間がないけど昼食を買うか」と思ったら、第3ターミナルのこのゾーンにはサンドイッチ類の**軽食を売る店舗がない**と知りいささか呆然とする。しかし千円くらいする土産菓子で腹を満たすのもなあ。



昨日に、惣菜パン1個とポテチ大袋を買って荷物に入れておいて本当に良かった。これで10時間を持たせよう。最悪、我慢できなくなったら機内で高いスナック類を買おう。飲み物だけは買って12時に搭乗する。スマホの電源を切って予定通りに12:15に離陸。あとは飛行機が落ちなければよし。

機内では基本、10時間ひたすらヒマを潰すだけ。昼食も食べていなかったものでさっそく惣菜パンとポテチ大袋をもりもり腹に入れてひと息ついた後に、TVサービスをチェックすると映画で「オデッセイ」の日本語吹き替え版があった。おっ、これは観たいと思ってたんだよね。当然に追加料金が発生するわけがお値段は…8AUDか。さらに「10AUDでフライト中は観放題」のオプションもあったので、他のラインナップを観てこちらに決定。モニタの下端末にクレジットカードを通して決済して鑑賞開始。

「オデッセイ」は期待を裏切らないとても面白い映画でした。とはいえBDを買い何度も見返すほどのことはないかなあ。続いて「スティーブ・ジョブズ」の吹き替え版を鑑賞。これも観ておいて正解。さらに「今月の映画」枠で「スターウォーズ 帝国の逆襲」をやっていたので「フォースの覚醒」なら喜んで観たんだがと思いつつB G Vに。日本語が入ってないが無問題で、かけながらうとうとする。その後「ROOM」をかけるが、日本語ないしもういいやと思って切り、あとは音楽（これも本来は有料）を聞きながら眠る。10AUDの元は余裕で取れた感じ。

そうこうするうちに10時間のフライトを終え、機は無事にメルボルンに到着。

通信確保と両替

メルボルンの日本との現在の時差は、サマータイム補正を含めてプラス 2 時間。

このため日本ではまだ夜の 22 時だが、こちらでは日付が木曜の午前 0 時を回ったのちに
なにげともなくメルボルンに到着（ここからは現地時間で記します）。

イミグレを自動で通過（パスポートをスキャンして顔をカメラの前で認証させるだけで、
人間とは一切会話せず）して手荷物を回収。その足で目の前の Optus のカウンターへ。
ここは営業時間が 0:30 までと聞いていたので、いささか急いでいたのだ。

Optus で係員にスマホを見せて SIM カードを購入。1 日 500GB まで無料データ枠を使え、
市内電話もできて 1 日 2AUD。文句なく安い。5 日プラン 10AUD をカードで払う。

500GB 枠を使い切ったらコンビニでチャージの必要があるんだろうなーと思いつつ。

ともあれ、これで無事に通信を確保しツイッターなどの接続を確認。

さらに両替所で当座の現金を確保すべく、昨年香港で余らせていた香港ドルを AUD に
両替…しようとしたのだが、混ざっていたマカオ**パタカは両替を断られる**。あ。

このため予定の半分かうちの 100AUD 程度しか調達できず。ま、今夜は足りるだろう。
今回は「クレジットでの現地通貨キャッシングをしない」をチャレンジ目標にしているの
だが、どうなるかな。

深夜のチェックイン

続いて市内への移動。案内に従い、スカイバスの片道チケット（18AUD）を購入し 2 階
建てバスに乗車。20 分ほどしてサザンクロス駅に到着。午前 1 時を回った。

駅で案内に従い、セブンイレブンの中を歩いて反対側の通りのタクシー乗り場へ移動して、
普通にタクシーに乗車。普通にプリントアウトの住所を見せてタクシーはホステルの前へ。
英語が通じて、ネットで現在地が確認できるのは本当に素晴らしい。

そして午前 1 時半過ぎに目的地であるエリザベス・ホステルに到着…したのはいいのだが、
入り口の鍵が閉まっているぞおい。ちゃんとあらかじめメールで 24 時間フロントの

受付確認と「午前2時頃に到着するからよろしく」とメールしたのに！

市内通話ができたスマホでその場でフロントに電話をするのがエレガントだったかもしれないが、とりあえずはドアをガチャガチャドンドンするうちに、2階から人が降りてきてドアを開けてくれた。係員ではなくてロビーにたむろしていたバックパッカーみたいだ。階段を上って2階フロントに行きチェックイン。鍵のデポジット代と4日ぶんの支払いをカードで済ませ、自室の鍵と玄関を開けられる電子鍵のセットを受け取る。

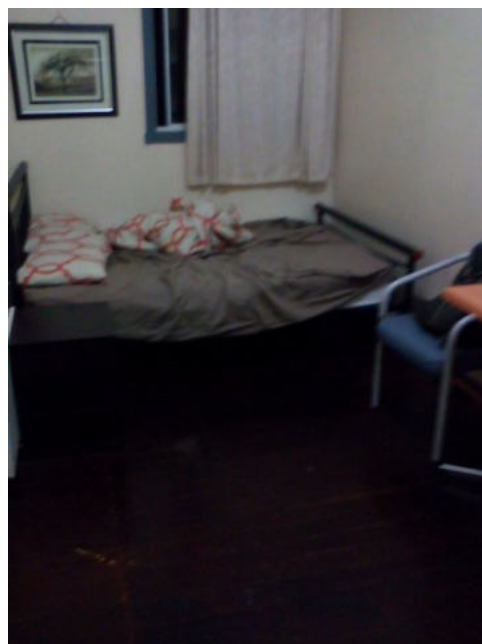
部屋は4階だったがエレベーターが無いので荷物を引いて階段を上り、午前2時に室内へ。自室の鍵はたてつけの悪いシリンダー錠でありプロなら一瞬で破れるとも思うが、考えるのはやめよう。貴重品は置かない方向で。

よし。これがこれから4日間利用する部屋だ。

寝るだけの部屋にしては意味もなく広いようだが、まあ狭いよりはいい。

しかしベッドメイクはしてあったものの、ちょっと布団はふかふかさと乾燥さには欠けており、存分にダニも棲息をしている感じで「うーん…」な気分。寒くないし布団をかぶって寝るのは止めよう。

あと、ゴミ箱が空でなくて**前の客のゴミ**が残っていたのには正直だいが呆れた。



激しく空腹だったのでフロントにコンビニの場所を聞きホテルを出るが、コンビニには行かず目の前のマクドナルドに入る。自動販売機で注文。深夜にはやっていないカフェのドリンクを頼んでしまい払い戻しする一幕などあるが、とりあえず腹は満たして夜の薬も飲んだ。ちなみにこんな時間なのに店内は若い男女でいっぱいだ。若者の町メルボルン。

部屋に戻って、手早く共同シャワーを使う。シャンプーやボディソープの類もなし…か。明日買おう。午前3時就寝。

2016年3月4日（金） クイーン・ビクトリア・マーケット

朝の6時半に目覚ましで起きる。睡眠は3時間だが、まあ飛行機の中でも寝たしね。まだ真っ暗だったが、もぞもぞするうち外が明るくなってきたのでベッドを出て身支度する。起床時間は7時で良かったかな？

身体が**少し痒い**。まあこの布団ならダニはいるだろう。香港の安宿以下のクオリティの最低価格ランクのホステルとはいえ、これでも素泊まり6千円くらい払ってるんだよな。端的に言ってメルボルンの宿は高い。

外に出てホステルの写真を撮る。昨夜は気がつかなかったのだが隣にスーパーがあった。聞けば閉店時間は23時ということなので、これは毎晩その時間までに帰るようにして、ここで夜に部屋でつまむ飲食物を買ってから、部屋に入るのが良いだろうね。

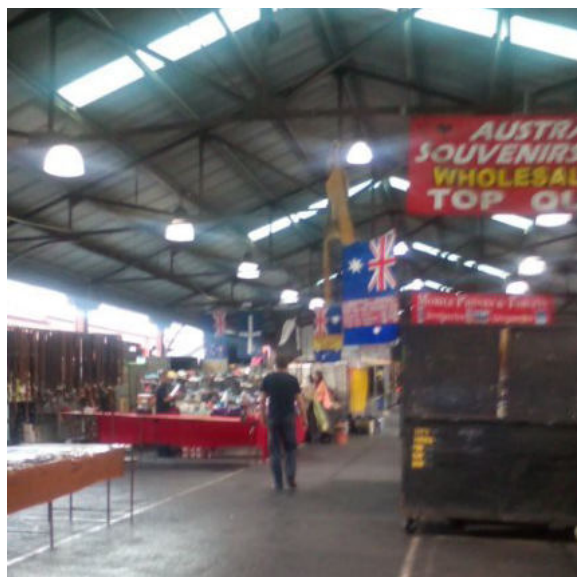


徒歩で目の前のクイーン・ビクトリア・マーケットへ。このホステルの唯一の良いところは、このロケーション。さて朝飯は何が食べられるのかな？

マーケットを端から攻めていくと、野菜や果物の店が延々と続いている。値段はかなり安い感じで、バナナが1キロで1.5AUDとか、マクドナルドでセットを頼むと10AUDが軽くとんだことを考えれば無茶苦茶に安いと思える。外食をしないで自分で料理をすれば相当に安く食費を抑えられるというのがメルボルン流なのか。ホステルの冷蔵庫はよく冷えるのは確認済なのでこれはバナナやイチゴを買っていくのもありかな。

さらに別の通りに入ると、ここは雑貨ブース。屋根のある空間を通りでカテゴリ分けされたブースがたくさん。この**同人誌即売会感**。

青果区画とは違って雑貨区画はまだ 1/3 ほどしか店が開いていなかったの、午後に来るとこれはさぞかし楽しいだろうなあ感じ。遊戯王を発見するも、マジックはなし。



とりあえず、いつもの「I Love Melbourne」のTシャツを 5AUD で買うが、土産用雑貨ももう少し買っておくんだったかなー。木彫りのブーメランとかお値段も手頃で良かったし。

実の所あと 1 回くらい来れるかなとも思ったけど、結局は昼間に来れなかったんです。



8 時半。一応は敷地内を一回りしたのでカフェに入り朝食にすることにする。お値段は 15AUD。日本の基準だとだいぶ高いが、結局のところは「食事は日本の 2 倍」と考えて納得するしかない感じ。だんだん慣れてきました。

普通にうまいけど、わざわざこの朝食のために朝クイーン・ビクトリア・マーケットに来る必要までではない感じです。

最後にホテルのおやつとして青果コーナーに戻ってバナナを買う。5 本 85 セントとか、食事と違って食材は一転して異次元級の安さの感じ。

ホテルに戻りバナナを 1 本食べる。うん無問題。バナナの皮をゴミ箱に放り込んでから、思いなおして冷蔵庫に入れ直す。ベッドメイクやゴミ箱の掃除をしに来ると思えない以上、この部屋のゴミ箱にこの夏の季節に 3 日間バナナの皮を入れていたら、これは間違いなく**ハエやゴキブリを召喚**することになるだろうと判断されたためです。

会場発見

9時過ぎにホテルを出て、徒歩で南下する。あ、コンビニ発見。

9時半に交差点でタクシーを拾い Melbourne Park Function Center を指示する。普通に10分ほどで会場近くで降ろして貰い、13AUD。

まあタクシーは基本相乗りで利用するものなので、千円なら仕方ないかな。

パーク内では少しだけ迷ったすえ10時前に会場入り。会場内にはすでに**おれたちが一杯**。



VIPは1日1回「サバイバルキット」なるものを

貰えるということであるから、まずはVIPエントリーをしようと思って受付に行くと「15分待て」と言われた。

サイドイベント受付には100mほどのゆるい列があるが、VIPになればこれをショートカットして参加できるように以上、いまこれに並ぶこともない。

このためバイヤーブースに移動して、まずは予定通りに日本から持参してきた余剰高額カードを売って滞在中の豪ドル現金を調達することにした。あらかじめ持参したカードの晴れる屋価格の75%を80で割ったAUDドル換算価格を目安表にしていたので、これを片手に相手の提示する価格と比較してOKしたりしなかったりして何十枚かカードを売り**1000AUD**ほどを獲得。これで当座の現金はたぶん十分。

VIP エントリーを済ませる

11時過ぎに受付に行ってVIPエントリーを済ませ、VIPのIDカードを貰ってその足でVIPラウンジに移動。さっそくらウンジで「本日のサバイバルキット」入りの袋を貰うが、

「まだプレイマットが届いていない」ということで、これは後ほど貰うことに。結果、VIPキットの中身はボールペンとスリーブとライフメモのみ。チョコバー1本位が入っていると思ったのだが「スナック」とやらも入っていない。



VIP ラウンジを出てただちに LGPT シールドにエントリーするが、まだ22人でポッド1すら立たない。まあ、待つしかないね。

会場内のあちこちに飲料水のポットとコップが置かれており**飲み水はタダ**。ありがたい。

とあるバイヤーブースに「ジャッジ1割引」の掲示があったので、なにげにツイッターでつぶやいたら日本のジャッジたちから「日本でもやりましょう！」の**大きな反響**（笑）。

心の友QJやジャッジ達に変な帽子をかぶっていたので聞くと、今回のGP会場では4月に出る次のセット「イニストラードを覆う影」のプレビューを兼ねたプレイヤー参加型「捜査」イベントをやっていて、その参加賞として配っているらしい。

後に会場内でこれをかぶっている参加者がちらほら目につきたしたのでQJに「それ、どこで貰えるんだ？」と聞いたらその場でかぶっているのをくれた。ジャッジには主催がいくらでも配っているようだ。多分ジャッジ控え室に積んであるのだろう。



昼食はサンドイッチ、夕食もサンドイッチ

30分たってもLGPTシールドは始まらず、そろそろ正午で小腹もすいてきたが会場内にフードコートの類が見当たらない。明日はパン持参かな？と思いつつ会場を外に出たら、目の前でサンドイッチ屋が開いていた。さっそく並んで買う。コーラとサンドイッチで14.7AUD。この値段にも慣れた。日本円に換算して日本での値段を思い出すのは止める。最初から日本の2倍と思ったほうがいい。とはいえそこそこに美味しいサンドイッチだな、明日もこれでいいなと思いつつシールド開始アナウンスを待って空いた座席でもぐもぐ。そして食後にVIPルームに入ったら**サンドイッチを配っていた**。あっ（笑）。VIPサービスの「スナック」とはお菓子ではなくてこれのことだったのか。ともあれ1個チキンマヨレタスサンドを貰う。今夜の夕食だ。どうせ夜まで確実に会場に居るのだ。しかしまあ、これで明日以降は自分で昼食を買わなくていいことが判明した。



LGPT シールド ポッド1

LGPT モダンのポッド5が立ち、サイドイベントのレガシーも立ったが、まだシールドが

立たない。12時半頃にやっと立ったか…と思ったら、どうやら WER でなく打ちなおしたらしく自分の名前が違う。何かトラブルでもあったのかな。

ともあれ LGPT シールドを開始。参加賞として RK Post のプレイマットを 1 枚獲得。

さて海外では競技シールドのチェックパックをどうこなしているのかなと思いつつ進行を見守っていたら、マーキングの類も見当たらない普通のパックを普通に配っていたのには「ありなのか？」と少々驚く。もちろん手順は「片方が開封しているのをもう 1 人は見ている」わけだけど。あと剥いたパックに手を触れないようにとかいう指示もなく、全員が開封を終えるまでの待ち時間に色分けソートを始めるプレイヤーも何人か。

うーん…まあどのみち**手品師**がいたら持ち込みすり替えは可能だけどね…。

それはそれとして自分が剥いたパックからは探検ランドの《湿った墓》が出た！やったね！やはり持ち込みイカサマ防止の面はあるにせよ「いいレアを引いたからドロップ」をしなくていい現在の競技シールドの方式は本当に素晴らしい。もう負けてもいいけど（笑）デッキを白緑タッチ青で組む。

《ギデオンの誓い》
《深水潜み》
《林鹿騎兵隊》
《放浪する森林》
《鏡の池》
《窪み溪谷》
《湿った墓》（探検ランド）

獲得レア

Creatures: 16

《コーの懲罰者》
《オンドウの戦僧侶》*3
《噛み付きナーリッド》
《忍び寄りドローン》
《網投げ蜘蛛》
《形状の管理人》
《種子の守護者》
《放浪する森林》
《探検の猛禽》
《タジュールの道守》
《空乗りのエルフ》
《不死のビヒモス》
《深水潜み》
《林鹿騎兵隊》

Spell: 8

《二人戦術》
《鑽火の輝き》
《模範提示》
《予見者のランタン》
《大物潰し》
《孤立領域》
《ニッサの裁き》

Lands: 17

《窪み溪谷》
《鏡の池》
《湿った墓》
《曲がりくねる川》
《未知の岸》
《平地》*6
《森》*6

構築デッキ

構築後の待ち時間に、アナウンスがあったのでVIPルームに行き、本日のプレイマットを貰う。さっきシールドで貰ったのと同じRKPostのもの。よし、お土産一枚できた。

Round1 白赤 ○×○

2戦目は土地が2枚で止まって負けたが、あとは危なげなく勝てた。

意外に強いデッキができたかな、という感触。

Round2 黒赤 ○○

ブンブン快勝。これでトップ8に入った。

Round3 白青 ○××

G1 快勝。を、これはトップ4入りか？とも思った。

G2 森が出ない事故のうえ、相手のギデオン様が降臨して負け。

G3 土地が4枚で止まる事故のうえ、相手のギデオン様が降臨して負け。

まあまあの結果だったが、まあ仕方ない。

ラウンドの待ち時間の間にRK Postのブースでプレイマットにサインを貰ったりした。

昼過ぎにスマホのデータ使用量をチェックしたら、73MBほどだった。これはどうやら、

1日500MBの無料枠内で収められそう。追加チャージも不要かな。

OGW ドラフト

LGPT シールドを終えると16時を回っていた。

Foiled Again ドラフトの受け付けは17時から19時の間だったので、その前にもう1回だけフライトのドラフトをできるかな。

できればモダンマスターズ2015のドラフトに





参加したかったが、現在1名しかエントリーしておらず17時までに成立しそうになかった
ので、通常のドラフトにエントリーする。
待ち時間にコスプレイヤーの写真を撮ったり、
QJから探査イベント参加賞帽子を貰ったり
しているうちに小腹がすいてきたので、先の
VIPサンドに手を出す。VIPサンドは1食分に
カウントができるみっちり味のおいしさで、
水でいいなら1食浮かせられる計算。食費が
高いメルボルンではこれは結構大きいな。

VIPサンドをかじっているうち、ドラフトが成立して呼ばれる。

ドラフトは青黒。別に勝負を捨ててレア取りをしたわけでもないのにやたらと一杯レアを取ってたな…まあ安いけど。
初手《無情な処罰》フォイルを「これが使えないかなー」と
思って取った時点でこのドラフトは失敗。《無情な処罰》は、
やはり最終的にデッキには入らず、完全な**ムダツモ**。

実際の対戦では、それほどには悪くない青黒を組んだつもり
だったのだが、あえなく赤緑に一没。次いこ次。

《現実を砕くもの》
《風への散乱》
《ウギンの洞察力》
《静寂を担うもの》
《無情な処罰》フォイル
《無情な処罰》
《隊長の鉤爪》
《石鍛冶の傑作》
《鋭い突端》

獲得レア

Foiled Again ドラフト

18時を回ったので Foiled Again ドラフトにエントリーする。勝ち数+1のプロモが獲得
できる金曜GP恒例のイベントである。

エントリーの待ち時間の間に「明日の本戦に参加するプレイヤーは、スリープインを選択
したプレイヤーであってもデッキリストは8:45までに提出願います」とのアナウンス。

せっかくのスリープインなのにそれだけのために明日早起きして会場入りしたくないなあ、日本で作り印刷しておいたデッキリストはホステルの部屋だがどうしたものか…と思ってから「**いま手で書いて出せばいいんだ**」と気がつく。デッキは貴重品でもあるので、ホステルの部屋には置かず持ち歩いていたのでそのようにして提出する。メディア同意書のほうは明日でいいらしい。

やっと Prize Wall が発表されたので賞品リストをつらつら眺める（これは事前にネットで公開しておいて参加意欲を促すべきものだと思う）。現在の自分の獲得チケットは、LGPT で 2 勝したから 50 チケットか。モダンマスタース 2015 が 1 パック貰える点数。あれ、そういえばプライズチケット貰わなかったぞ？と思って問い合わせると、どうやら今回の GP では紙のチケットを物理的に配布するのではなく、サイドイベントのスコアの入力を WER でなく **主催が独自開発したシステム**に入力したうえで、そのシステムでリアルタイムにポイント計算と賞品変換ができるようにしたらしい。おお、それは凄いな。最終日にシステムが落ちなければいいのだが。

Foiled Again ドラフトの受け付けは 19 時までだったわけだが、19 時を回るもなかなかドラフトに呼ばれない。もしやドラフトが終わって会場を出るのは 22 時を回るのでは？と思い「不成立ならもう返金して貰って帰るからそうアナウンスして欲しいな、と思っているうちに 19 時半過ぎに呼ばれた。成立したようだ。

参加賞の RK Post のプレイマットを受け取ってドラフトの開始。ジャッジを含めた全員が帰りの時間を気にしているようで「さっさとやろーぜ」な雰囲気。なおある意味で幸いなことに Foiled Again ドラフトはスイス 3 回でなくシングルエリミとのこと。まあ賞品が減るだけのことはあるのだが、ある意味ではほっとする。

デッキは青緑タッチ赤で。基本的にはクリーチャーが少なく重いだけの失敗ドラフトの感触。
取りレアは…悪くはないが、まあどうでもいいな。

《エルドラージの寸借者》
《忘却蒔き》
《海門の残骸》

獲得レア

Creatures: 14	Spell: 9	Lands: 17
《目潰しドローン》	《イトグモの蔦》	《海門の残骸》
《耕作ドローン》*2	《次元の歪曲》	《未知の岸》*2
《エルドラージの寸借者》	《歪める嘆き》	《島》*7
《タジュールの重鎮》	《予期》	《森》*7
《虚空を継ぐもの》	《呪文萎れ》	
《雲マンタ》	《封止の被膜》	
《霞の徘徊者》	《虚空の粉碎》	
《重力に逆らうもの》	《甲殻の外套》	
《コジレックの媒介者》	《予見者のランタン》	
《忘却蒔き》		
《ウラムグの強奪者》		
《コジレックの先駆者》		
《破滅の昇華者》		

構築デッキ

Round1 勝ち

失敗ドラフトの感触だったのでさっさと負けて帰ればいいやと思ったら、相手の事故で勝ってしまった。

Round2 負け

まあ当然の負け。

FNMプロモフォイルの《胆汁病》と《忌まわしい回収》を貰って終了。さ、帰ろう。

リバーサイドのバーで夕食

ドラフトを終えると 21 時。帰りのタクシーは拾えるのかなあ、電話で呼ばねばならないのかなあ…と心配しつつ、まだ会場に居たさわけんと話すと「歩いて帰れる距離ですよ」とのこと。行きも歩いてきたそう。ほほう。じゃあそれでいいや。このためさわけんと

会場を離脱。どうでもいい話をしながらヤラ川沿いにつらつらと市街へ徒歩で北上する。



夕食は肉でも食うかと話していたところ、何やら川沿いに大変賑わっているスポットがあったので、ひとつここにチャレンジしようということにする。基本的にはただの居酒屋なのだが、夕食がてらにそこそこ腹持ちの良さそうなつまみを頼む。当然さわけんは酒を入れるが、自分は例によってソフトドリンクを注文。メニューの「CAPI」って何のことか分からなかったのだが、どうやら単にこちらのブランド名だったようだ。



メルボルンは飯やドリンクが日本の軽く2倍の実感があったので、これで果たしていくら取られるのだろうかとびくびくしながら注文するが、しかしどう見ても周囲の客層などを見てもただの庶民酒場であり、実際、メニューの値段も普通というか、ドリンクの値段がコンビニのボトルと変わりませんよ？このへんの基準がどうもまだよく分かりません。

適当におかわりしつつ飲み食いして、さわけんと折半して3千円でお釣りがくるくらいだったかな。うん全然OK。タクシーで Hostel にまっすぐ帰らなくて良かった。徒歩のプランを提案してくれたさわけんに心から感謝。楽しい夜だった。明日からも歩こう。

夜のメルボルン

食事を済ませホテルに戻るべく再びさわけんと歩く。フリンダーズ・ストリート駅からエリザベス通りを北上。市内メインストリートを金曜の夜に歩いているのだから当然とはいえ夜の22時を回っていても大勢の人で賑わっており、道端では音楽を演奏していたりゴシック調のドレスを着飾ったカップルが歩いていたりで、非常に楽しい雰囲気である。昨夜メルボルンに到着したときは「いやぁ開いている店が全然ねえな…とも思ったのですが…って**夜中の2時**に到着して言うことじゃなかったですね（笑）。

男2人で夜の通りを歩いていたら、街角で兄ちゃんがホストがどうのと言い手渡してくれた紙。ホステスじゃなくてホスト？と心の中でツッコミを入れながら見る。

なんの風俗かな？と思いつつよく見たら

「セクシすとてーぶるとっぷだんしんぐ」の文字が…あっ！これは噂のメルボルンのストリップ・バーという奴ですね。聞いた



話によればテーブルの上で下着姿のおねえちゃんが、くねくねとダンスをしてくれる酒場らしいです。**おさわりは禁止**だけど、さらに100AUDほどもチップをはずむと別室でプライベート・ダンス（謎）をしてくれるらしいのですが、本番をしてくれるというものでもないようです。いや詳細は知りませんが。まあ何にせよ行きませんでしたけど。

風俗はともかく街を歩いているその辺の女性もカワイイ娘が多いよね…というさわけんの言葉には心から同意。メルボルンは大学の街であるらしいので実際女子大生が多いのではないかと話す。

さわけんが「いますれ違った娘、良くないですか？」とか言ってきたので「僕はむしろ、いま僕らの前を歩いている3人組の真ん中の娘のほうが」とか言ったら、さわけんが実に心外そうに「僕にはこんどうさんの趣味が分かりません」とか言いやがる。**うるせえ。**だから世の中、平和に棲み分けができるんだよ。

えくすきゅーずみーおじさん

さわけんのホテル近くのスーパーマーケットに入って部屋で飲み食いするものの買い出し。ドリンク 500 ミリのペットボトルが 4AUD なのに 1.5 リットルボトルが 3AUD。どうも地元民が利用するものは安く買える感じ。観光客からは巻き上げるのかな。

さわけんと別れてエリザベス通りをさらに北上して自分のホステルに到着。ガタイのいい兄ちゃん 2 人と女の子 2 人の 4 人組が、入り口のドアを塞ぐ形で座りこんでだべっている。こいつら激しいセックスしているんだろうなあ…じゃなくて、入れないのでにこやかに「えくすきゅーずみー」と言って座っている女の子にどいて貰ってホステルに入る。

自室に荷物を置いてから今夜のアイスを買っていないことに気がついたので再度外に出て、ドアをそろそろと開け「えくすきゅーずみー」と言って再度、女の子にどいて貰って出る。ホステル隣のスーパーに足早に入る時に正確には聞きとれなかったが後ろで彼ら彼女らが「えくすきゅーずみー」と言いながらゲラゲラ笑っているのが聞こえたので「ああ、俺はいまこの子たちから『えくすきゅーずみーおじさん』と嘲笑されているのだなあ」と気がついたのだが気にしない。敵意をぶつけられるより **1 億倍マシ**である。

閉店間際のスーパーで手早くアイスとコーラ缶と歯磨き粉と歯ブラシとボディソープを買ってから、にこやかに「えくすきゅーずみー」と言って通して貰い、部屋に戻った。

GP 金曜日終了

部屋に戻ってから手早く共用シャワーを浴びて（今日はソープを使った）から、その後でお気に入りになったレモネードアイスを食べ、冷たいコーラを飲む。メルボルンは夏。やばい位の極楽がこんなに安上がりに得られる幸せ。

眠くなってきたので日付が変わった頃に就寝。いよいよ明日は G P 本戦だ。



2016 年 3 月 5 日（土） GP 本戦の朝

7 時に目が醒める。鼻水がとろり出る。メルボルンは杉花粉はないと思うのだが、これはハウスダスト疑惑が濃厚。今日はいよいよ GP 本戦だが、スリープイン 2 バイがあるので 8 時半から 11 時までには会場に着けば良い。ということで 1 時間を目処に昨日のマジック日記を書いてから徒歩で会場に移動し、途中どこかで朝食にすることにする。

ノート PC を起動し、スマホをテザリングしてネット接続して日記のためのリミテッドの取りレアやデッキリストをテキストファイルに起こす作業。DiaryNote 更新は後だ。

9 時前に支度をしてホテルを出た。まずはエリザベス通りをまっすぐ駅まで南下する。



9 時 10 分にフリンダース・ストリート駅についた。ここからは東へ移動。ビジターセンターの前でオレンジの屋根つき露天テーブル多数が目をつけたカフェに入って、普通の洋軽食の朝食をオーダーする。



体感的には地元民向けでない食事は日本のざっくり 2 倍くらいの値段なんだけど、たぶん働いているカフェのバイト時給も日本の 2 倍くらいなのではないか？とか食事をしながら考える。観光客なんてわざわざカネを落とす為に来ているのだし、もし仮にそれでみんな幸せなら、それはたぶん良いことなのであろう。

それはそれとして料理はうまい。マヨネーズベースのソースがたっぷりかかった**マヨラーに** **歓喜**のハムと半熟卵のトースト。

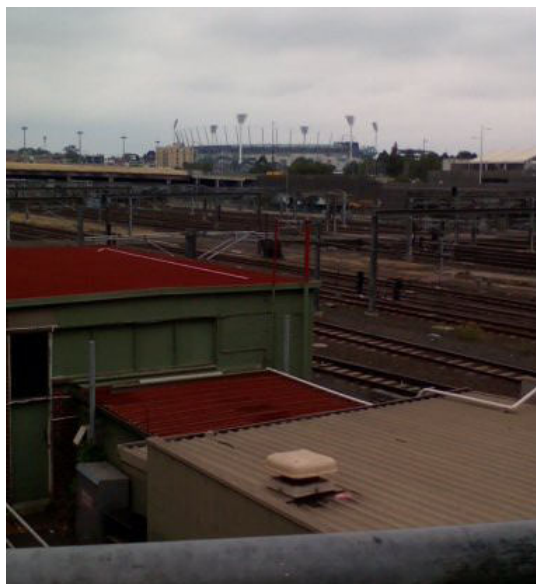
飲み物込みで約 2 千円なのは忘れよう。



会場入り

9時40分、店を出て会場へ向かう。あとは徒歩10分くらいだろうか…とか市内を後にしつつ、橋の上から遠目に会場を見ながら考える。この歩道は自転車&ジョギングのコースでもあるらしく**歩道が2車線**と広い。車道と間違えてないかと思うくらい広い。

そのまま、てくてく歩いて10時に会場に入る。



メディア同意書を本部に渡してからVIPルームに入って今日のサバイバルキットを受け取る。

今日のサバイバルキットは、デイリーのマットが昨日と同じRk Postプレイマット（4枚目）、VIP用プレイマット、そして本戦のレベッカ天使プレイマットが入っており、ずっしり。

すでに1回戦は始まっているが、あとは3回戦の開始を待つのみ。スリープイン万歳。

レベッカのプレイマットが「本戦の参加者は取り

に行くところ」状況になったらしく、テーブルにレベッカのプレイマットを広げている人をちらほら見かけるようになったのでバイヤーブースを覗くが、まだレベッカのプレイマットは売りに出ていない模様。果たして日本のみんなから頼まれたぶんだけ適価で買えるだろうか。Rk Postのプレイマットはちらほら売りに出されているのではあるが。



本戦バイ明け待ち

10時半に1回戦が終了。まだあと1時間あるのでLiusさんのブースに並んで、VIP用の

プレイマットにサインを貰う。このプレイマット「VIP」の文字がないんだね。いいけど。そうこうするうちに 11 時、そろそろ 2 回戦が終了する。

VIP ブースで今日の VIP サンドイッチを配り始めたので受け取る。自分の名前は外人には割と復唱が難しげな名前であるようなので、自分は VIP 名簿の 6 番目に名前があることから、ほどなく受け取る際に「No.6」と言って貰うことにした。私は自由な人間だ！（プリズナー No.6 のネタなんて今の人には通じないぞ）



僕は**これが千円する**ことをすでによく知っている。思わぬ VIP のメリット。間もなく 3 回戦なので、食べるのは後で。

本戦開始

いよいよ本戦開始。さて、この**メイン完コピ**の青赤エルドラージは回るかなー。

Creatures: 33	Spell: 3	Sideboards: 15
《エルドラージのミミック》*4	《四肢切断》	《精霊龍の墓》
《空中生成エルドラージ》*4		《大祖始の遺産》*2
《不快な集合体》*4	Lands: 24	《漸増爆弾》
《エルドラージの寸借者》*3	《島》*2	《虚空の杯》*2
《破滅を導くもの》*2	《蒸気孔》*2	《頑固な否認》*2
《難題の予見者》*4	《沸騰する小湖》*4	《はらわた撃ち》*2
《現実を砕くもの》*4	《シヴの浅瀬》*4	《ハーキルの召還術》*3
《希望を溺れさせるもの》*4	《エルドラージの寺院》*4	《残響する真実》*2
《果てしなきもの》*4	《ウギンの目》*4	
	《魂の洞窟》*3	
	《宝石の洞窟》	

本戦デッキ

Round3 青赤エルドラージ ○×○

ミラー。先手勝ちで、運が良かったとしか言えない勝ち方。

相手のデッキにはメインに《精霊龍の墓》が入っていた。確かにそのほうが正解っぽいな。自分も次のラウンドから《宝石の洞窟》とサイドでチェンジしよう。正直、宝石の洞窟はアド損をしてまで後手でワンチャン1マナを延ばしたいかは微妙だと思った。あるいは、《四肢切断》が2ライフ支払いで打てるメリットは、あると言えるのだろうか。

Round4 やまけんさん リビデス ××

まさかのやまけんプロとの対決。そりゃまあ確かに3-0ではあるんだけど…。そのうえでさらに**フィーチャーエリアに呼ばれて**吹く。いやまあその。なんという羞恥プレイ。やまけんプロとは今年の頭のGP名古屋の2日目に続いての対戦ではあります。

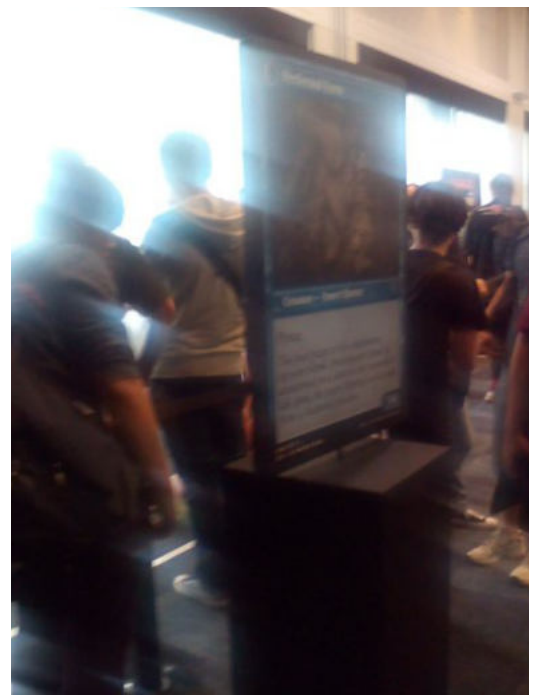
やまけんプロのリビデスは、さすがにこの環境のメインのエルドラージをメタっただけに、実に動きに無駄がなくて強かったとしか言えず、ほぼ何もできずに完敗。カバレッジ班が同席していなくて本当に良かった…。

ていうか結局、やまけんプロのリビデスは、このメルボルン初日で**9-0**しました（笑）。1勝ぶんに貢献したとも言えるけど、胸を貸して頂いて、ありがとうございました！

速攻で終わったのでぶらぶら歩く。

例の帽子を貰うためには、ここの待機列で待って、ここが定員に達したらイベントを開始して探検ゲームを行い、参加賞として帽子を貰えるという趣向らしい。なるほど。まあ、本戦参加中にはちょっと無理ですね。明日は参加できるかな？

レベッカのプレイマットをバックヤードに置いてあるバイヤーが居たので「いくら」と聞いたら「買い取りはしているが売ってない」との返事。



ふうむ。この店はなぜか「晴れる屋」のスリーブを販売していたりもするので、あるいは晴れる屋と日本にある程度の枚数は持ち帰れるように話がついているのかもしれない。

Round5 青赤コントロール ○××

G1 勝ち。

G2 月を貼られて負け。

G3 月を貼られて負け。

対戦相手が月や海を入れてくるのは想定内なので、これはプレイングで対処すべきなんだろうなあと思わないでもなく。赤なら最初のフェッチで島を持ってくるのちょう大事。てゆうかこの環境なら当然、ミミックを焼く軽い火力と月はメインでも入ると思う。

レベッカ天使プレイマットのお値段

この頃には別のバイヤーブースにレベッカのマットが80AUDで売りに出っていたので、「1万円以下なら買って」という指値をつけた2名のぶんをただちに購入する。

この頃には出発前は80円超だったAUDも85円を超えていたので、80AUDだとまあ、単純換算で7000円弱というところか。手間をかけて損をする気はないので500円程度は乗せさせて貰うことはあらかじめ言っているんで、指値5千円をつけた日本の友人向けに「会場で5千円まで下がることはもう期待できないと思いますが7500円でいいなら買います」と再度ツイッターでアナウンスする。結局のところ当初の予定の**全員**がその後で申し込んできて買うことになりました（笑）。さらにたちーからの追加の発注も。これがレベッカプレイマットのお値うち。

もしかしてG P初日通過？

Round6 フィッシュ ○×○

6回戦はフィッシュに2-1勝ち。ほんま右手ゲー。これで4-2。

対戦相手は「ここまでで4回エルドラージに当たったよー」と苦笑しつつ言っていました。

まあそれでもここまで3-2で勝ち進んできた相手だったわけですが。

なおこの対戦相手の若い兄ちゃん、赤や黄色の抽象模様の非常にカラフルなタトゥーを右腕びっしりにしていたため（写真撮らせて貰うんだったな）、対戦の開始前にお世辞でなく「それ綺麗だね」と言ったら非常に上機嫌になり終始なごやかにプレイでき、翌日も会場で向こうから声をかけてきた（初日通過できたらしい）という一件あり。当然ながら一生残るものをやる以上は本人にもこだわりがあるわけであり、この手は海外G Pでは

「非常に**使える**」と思った（笑）。3人に1人くらいはタトゥーしてる感じだしな。

僕は「タトゥーをしている＝怖いひと」という日本の偏見は基本的に西洋の方々に対する認識として間違っているし、観光地の温泉やプールが「刺青のかたお断り」ということをやるのは海外から観光客を誘致したいにしては間違っていると思います。「暴力団関係者お断り」ならはっきりそう書くべきでしょう。もっとも主目的が「他の客への暴力を奮う可能性の高い人間の排除」でなく「タトゥーをしているだけで怯えて一緒に居たくないと思う他の日本人客からの偏見とクレームへの対策」であるのも明白ではあるのですが。

せめてマジックプレイヤーは、国内G Pでも若い外人お兄ちゃんやお嬢ちゃんらが普通に腕とか胸にタトゥーをしているのを見ている筈だし、何よりも一緒にキャッキョウフフとマジックを楽しんでいるわけなので、そのような偏見は捨てて欲しいなと思っています。

それはそれとして現在4-2。あれ？もしかしてあと2-1できれば初日通過？

これまで構築なんて全然まともにやっていなかった俺なのに。

まあ、もう17時だし負け負けドロップしても終了は19時にはなる。今日はもうサイドイベントは諦めて本戦を楽しもう。会場離脱は20時かな。カジノ行こうかなあ。

案の定、日本の友人から注文が来たので、さっきのバイヤーブースのレベッカのプレイマットを80ドルで2枚買う。

また VIP ルームに石鍛冶フォイルが到着したので受け取る。

VIP ルームにトモハルさんが居たので雑談。VIP の無料サンドイッチや 1 日 1 枚プレイマット入りの VIP キットの存在を知らなかったようなので教える。

Round7 赤緑エルドラージ x○○

3 本目は手札使い切り殴り合いのすえ相手が盤面で圧倒し《終末を招くもの》も展開して次のワンパンで確定死（全体除去もないのもバレバレ）という状況で、こちらのトップが《エルドラージの寸借者》で、《終末を招くもの》のコントロールを奪って（相手はその前にティムで《エルドラージの寸借者》を倒したが）、その《終末を招くもの》で本体を殴って勝ち。引いた自分が一番びっくりした。

これで 5-2。このまま 1 勝できて GP2 日目に進むも、残り 2 回を負け負けで終わり明日スーパーサンデーシールドをやるのもネタとして非常に美味しいので、どっちもあり。

Round8 白青エルドラージ xx

こちらの引きが全然悪く、相手のしたいようにされて負け。ま、仕方ない。

白青エルドラージになんで《アーボグの墳墓》が入っているのかなと思ったものだが、あとで気がついたが《四肢切断》をライフを払わず打つためですね。なるほど。

まだ次の最終戦に勝てば初日通過。気になるのは、この 8 回戦にぼくの隣でさわけんが打っていて、しかもどうやら負けたらしい。まさか最終戦で当たりやあせんだらうな…。

今夜は 21 時過ぎには出られるだろうし、ステーキ屋とカジノかな。

しかし 20 時になろうとしているのになかなか最終戦が始まらない。

Round9 青赤エルドラージ x○x

だいたいほぼ先手ゲーで、殴り合いのすえに負け。

これで終了！ 最後が同系に負けたのは、右手期待コピーデッキでこの構築環境に臨んだ自分としては、負け惜しみでなく大変に良い終わり方だったと思います。

明日のスーパーサンデーシールドにエントリーして 20 時半に会場を後にする。

朝の 8 時に会場入りの必要があるので、あるいはまたタクシーを利用するかも。

夕食は 350g ステーキ

とりあえずオーストラリアに来たからには、オーギービーフのステーキは食べるしかあるまいということで、今夜の夕食はステーキに。事前調査でカジノの近くにあるステーキ屋「The Meat & Wine Co」(※1) が予約必須な位に評判が良いということだったので、それではここで夕食にしてからカジノに行こうと決めた。タクシーが拾えるかどうか怪しかったしつらつら歩くか…と思ったら、帰りの路上でタクシーの運ちゃんが休憩を取っていたので声をかけて乗車。

しかし行き先を指定する所で、日本で作ったメモをスマホで読み違えて別のステーキ屋「Rare Steakhouse」(※2) MidTown 店を指定してしまう。間違えたことにほどなく気がついたものの、まあ今から訂正するのも大義だしここも月曜に行く予定だったしな…と思ってそのまま向かう。ほどなくタクシーは手前の路地で停車し目的の店も発見。常に現在地を GoogleMap で確認できるというのは、本当にありがたいことです。

※1 <http://themeatandwineco.com/>

※2 <http://www.raresteakhouse.com.au/>

待たずに入店できて、前菜の本日のスープとパンに、骨つきリブステーキの 350g とサイドメニューのコーン一皿、それにコーラを注文。

まず出てきたスープが予想よりだいぶでかく具たくさん。む。



続いて残りが全部届く。みっしり肉にどっさりポテト。…コーン一皿が余計だったなあ。粒でなく丸ごとだったので、食べるのにちまちま粒をちぎる手間がかかるのが大きい。



コーン完食は断念したうえで満腹して店を出る。70AUD。うん、ぜんぜんOK。

ホテルに戻る

食事を終え22時。これからカジノに寄るのは、もう無理。普通に歩いて帰ろう。東西どちらかにエリザベス通りまで歩いて北上すればホテルに帰れる。もう覚えた。

昨夜チェックしていた日式韓式スーパーに寄る。…まあ、ふつうだな。普通に日韓の菓子や食材が置いてあるだけ。カルピスウォーター1リットル250円。値段もふつうなので部屋飲みで1本買う。



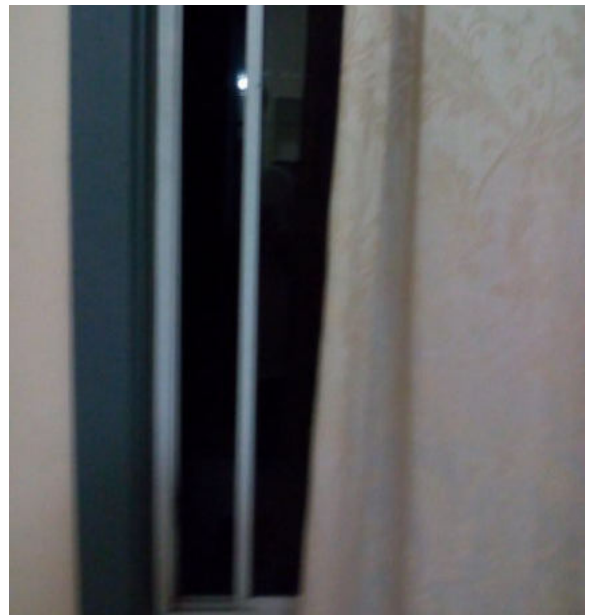
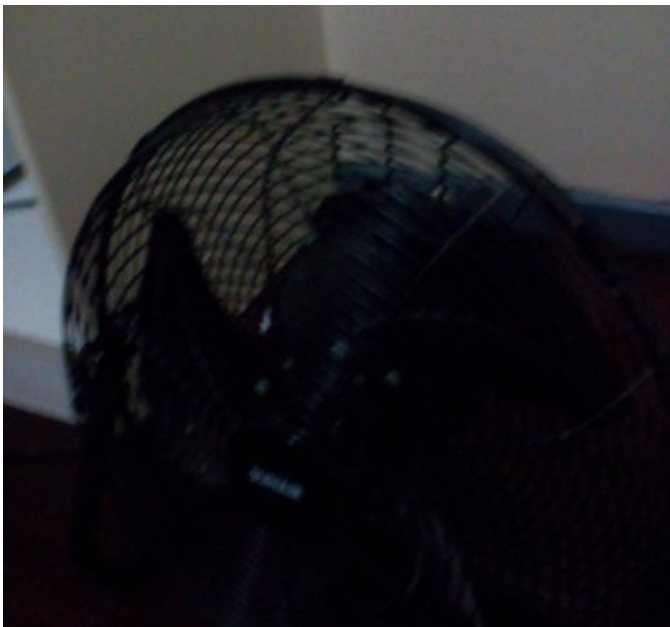
ホテル隣のスーパーでアイスと缶コーラを買って23時前にホテルに戻る。共同シャワーを浴びてから、いつものアイスレモンバーを食べる。この味は気に入った。

ジェットスターの荷物増量

結局レベッカのプレイマットは「8000 円なら頼む」な人がその後に出たため、どうやら 10 枚くらいは買って帰ることになりそう。プレイマットは 1 枚 500g を見たほうが良い 案外重いものなので、これは 5kg はプレイマット分の増量を見込まねばならないことに。帰りの荷物は 15kg で申請していたものの、また 1 万 6 千円を払うことなどゴメンだったので、ネットでジェットスターのサイトにアクセスして荷物増量を申請する。結果として 3700 円を足して 10kg 増しの 25kg 2 個までの荷物を申請。まあ、普通はこのくらいの重量増量料金だよなあ。さすがにこれなら荷物オーバーはあるまいと思いつつ。

この部屋はエアコンがついておらず、でかくてやかましい扇風機しかなかったのですが、部屋に戻っても思ったほどは蒸してないし寝ていて時折ひんやりした風が吹いてくるのであるいはエアコンが実は効いてるのかな…と思ってよく見たら窓が少し開いていただけでした。宿泊 **3 日目**の晩になっていまさら気がついた真実。まあ、エアコンがないのなら真夏は軽く死ぬし冬も死ぬしなので、この宿はやっぱり次はないな。

実は部屋をちゃんと見たら最初から窓が開いていたことが分かります (P.9 写真参照)



午前 1 時半、就寝。明日はスーパーサンデーシールドだ。

2016年3月6日（日） スーパーサンデーシールドの朝

6時半、起床。支度を済ませ7時前にホテルを出る。まだ暗い。これなら徒歩でも8時までに会場入りは余裕だろう。つらつら歩く。道路を南下するうち7時の「きーんこーん かーんこーん」のビッグベンの鐘が聞こえる。このへんが旧英国領の名残か、いいな。

そーいえば現地の工口本を手に入れてないなと思ってセブンイレブンに入ると、果たして工口本を発見する。帰りに買っていこう。メルボルンは女子大生で一杯の街とはいえ、やっぱり寂しい男のための工口本は必需品だよな。

甘味も欲しかったのでチョコレート売り場を覗くと、M&Mの200g入りのみっちり袋が7AUD。んんー…高いかな…と思ってよく見たらプリングルスなどのお菓子などを含めて「3個で10AUD」の表示。を、これならまあお値打ち価格。バナナとかオレンジと



かのフレーバーつきという日本で見ないものもあるので、会社配り土産はこれでいいや。それは明日買うことにして、日本でも食べている普通のM&Mチョコなどを3袋購入。

フリンダースストリート駅についたので東へ曲がる。さて今日の朝食はどうするかな…と広場を歩いていると、大荷物を引いたQ Jと遭遇したので挨拶。あの荷物だと、おそらくホテルはチェックアウトして今夜のうちにマレーシアに帰るのかな。Q Jは昨日の自分のコースとは違う南のほうに向かっていった。あっちから会場に行くコースもあるのか。

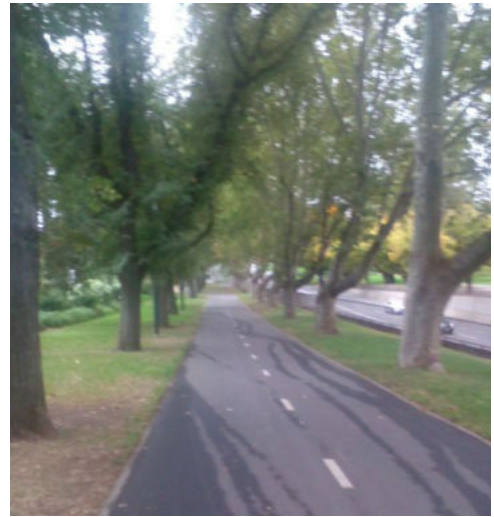
時間もそれほどないし、朝食は結局、マクドナルドにすることにした。オーストラリアのマクドナルドは自動販売機で注文して決済（カード可）のうえで、レシート番号を店員が読み上げてくれる方式。たいへん合理的である。なおメニューに鯨肉マフィンというのがあり、本当かよと思いつつ注文。オーストラリアは反捕鯨国じゃなかったっけ…？

鯨肉マフィンの味は、それほど違いが分かりませんでした。まあスパイスたっぷりだし。鯨肉エッグマフィンセットのお値段は9.2AUD。もう慣れました。

会場へのハイキングコース

マクドめしをテイクアウトして、かじりながら QJ が歩いていった方向の南ルートを歩く。行ったことのない道でも Google 先生がいればなんとかなるだろ。

こちらはクイーン・ビクトリア・ガーデン内にあるハイキングコースを突っ切るルートであるようだ。なるほど、距離はともかく気持ち良い。



右に見えるあの橋でヤラ河を渡れば会場か。なるほど、確かにこっちのほうが気持ちいいね。遠くもない。

そして橋を渡ってバットマン通りを渡れば会場。



スーパーサンデーシールド開始

昨日の最終順位は 336 位だが、15 点の中ではオポネントがトップだった。まあ初負けが全勝のやまけんさんだものね…。何にせよ初の構築 GP としてはいい感じの結果。



スーパーサンデーシールドの準備卓。リストのある机を数える限り 64 人は居るので 7 回戦。スーパーサンデーシールドは 1 敗ですでにトップ 4 は難しいスパルタンな仕様なのでガチな人は 1 敗ドロップだろうけど上位賞を狙うなら 1 日遊べるイベント。どこまで遊ぶかはプール次第。糞プールだったらさっさとドロップしてモダマスドラフトでもやるのが吉だろう。

8 時過ぎるとシートオールが出たので、自分の席に座り朝の薬を飲んだ。やがて本日のプレイマットと一緒に

パックが配られたので、チェックパックののち構築開始。

値段はともかくレアはそこそこリミテッド的には強いものの、白赤系と青黒系でまったく噛み合っていない。考慮の末に白赤にして 9 時過ぎ構築終了。どこまで頑張れるのかなー。

《ギデオンの誓い》
《苦い真理》
《エルドラージの寸借者》
《巨人の陥落》
《深水の大喰らい》
《鋭い突端》

獲得レア

Creatures: 16

《絶壁の見張り》
《溶岩足の略奪者》
《マキンディの滑り駆け》
《ザダの猛士》
《マキンディの巡回兵》
《コーの鎌使い》
《コーの空登り》
《復興の壁》
《棘撃ちドローン》
《ヴァラクートの発動者》
《エルドラージの寸借者》
《オンドウの大角》
《救援隊長》
《落とし子縛りの魔道士》
《エムラクルの名残》
《コジレックの大口》

Spell: 8

《焼尽の光》
《凶暴な力》*2
《戮力協心》
《大物潰し》
《孤立領域》
《巨岩投下》
《巨人の陥落》

Lands: 16

《鋭い突端》
《崩壊する痕跡》
《抵抗者の居住地》*2
《平地》*6
《山》*6

構築デッキ

スーパーサンデーシールド対戦開始

1 回戦待ちの間に、VIP エリアで本日のキットを貰う。本日のプレイマットつき。
サインの優先券も 3 枚貰えたけど正直、最終日の日曜に渡されてもなァな感。

Round1 青黒赤 x○x

- G1 コンバットトリックを用意し殴りに行った…つもりだったがマナの計算を間違えて
打てず突っ込んだクリーチャー犬死にとかの実に酷いミスをして負け。
- G2 まあ勝ち。
- G3 ありえない酷いミスを色々して負け。駄目だこりゃ。ドロップしようかなァ…。

待ち時間にバイヤーブースを覗くと、昨日のブースにレベッカプレイマットがまた 3 枚
あったので、値段を確認のうえさらに頼まれものを 3 枚購入。向こうがこちらの顔を覚えていたようなので「多くの日本の友人がこれを欲しがってる」と言ったら、奥からさらに
また出してくて「まだいるか？」と言われる（笑）。いや流石に今のところは十分。

Round2 黒緑 ○○

快勝。つまらんミスで十分に勝てたと思われる 1 回戦を落としたのが辛いナ…。

待ち時間に今日のプレイマットに Yee さんのサインを貰おうかなと思って並ぶ。列が 3 人
ほどだったので優先券を使うほどではないかな…と思ってそのまま並んでいたら、先頭に
並んでいた奴が 10 枚ほどプリントを購入して盛大にサインを頼みだしたので、苦笑して
ブースを去る。まあ、サインを貰うのは次のラウンドでも別にいいや。

スーパーサンデーシールドは 79 人だった。賞品 100 チケットは 16 人までということは、
7 回戦のうち 2 敗ならまだワンチャンか。3 敗ならドロップ。とはいえ前半で 2 敗したら、
残りの全勝などにベットするよりはドロップして別のドラフトなりに移るべきだろう。

Round3 黒赤 ○×○

相手の事故勝ち。

待ち時間に VIP サンドを貰って食べる。

再度 Yee さんの所に並び普通にプレイマットにサインを貰う。やはり3人くらいしか並んでいなかったなので優先券は使わずに済ませる。あるいは日本ではプラチナチケットだったかもしれない、サイン優先券に出番まったくなし。



Round4 白青緑 ×○×

後ろから観ていたさわけんが呆れるほどの酷い打ち方をして負け。今日はあかね。

ドロップしてスーパーサンデーシールド終了。



OGW ドラフトで全勝

やはりモダマスドラフトは立ちそうになかったなので、通常のOGWドラフトにエントリー。ほどなく14時前に立ったのでドラフト開始。

初手《ゼンディカーの代弁者、ニッサ》。を、元取った。

もう負けてもいいや。

一度ニッサは自分で使ってみたかったので、緑決めうちで2色目を赤緑で始めて黒緑タッチ赤にチェンジ。

《姿を欺くもの》
《静寂を担うもの》
《ゼンディカーの代弁者、ニッサ》
《燃えがらの林間地》

獲得レア

Creatures: 15	Spell: 8	Lands: 17
《捕らわれの宿主》	《骨の粉碎》	《燃えがらの林間地》
《静寂を担うもの》	《現実の流出》	《荒廃した草原》
《殺戮ドローン》	《模範提示》	《荒廃した森林》
《忍び寄りドローン》	《完全無視》	《未知の岸》
《本質を蝕むもの》*2	《食い荒らす炎》	《沼》*6
《コジレックの叫び手》	《カザンドゥへの撤退》	《山》*2
《吸血鬼の特使》	《ゼンディカーの代弁者、ニッサ》	《森》*5
《タジュールの重鎮》	《予見者のランタン》	
《網投げ蜘蛛》		
《形状の管理人》		
《コジレックの組み換え》		
《領地のベイロス》		
《タジュールの道守》		
《ベイロスの虚身》		

構築デッキ

Round1 青赤 ○×○

後ろで観ていたさわけんが呆れるほどの酷い打ち方をするも、勝てた。

Round2 赤緑 ○○

G1 相手の土地が2枚で止まって勝ち。

G2 まあ勝ち。

これで決勝。賞品は優勝が「プレイマット+60 チケット」、2位が「40 チケット」。
 すでに本日のプレイマットはVIPとスーパーサンデーシールドで2枚貰っていることから、
 相手に「プレイマット欲しい?」と持ちかけ「欲しい」と答えたので「自分はこのプレイ
 マットはすでに持っているので、それではプレイマットはあげるけど自分が勝ったことに
 して1位のチケットをくれませんか?と持ちかける。相手は了承。にこにこ別れる。
 これは20 チケットとプレイマット1枚を交換したようなものであり、10 チケットだと
 ブースター1パック分にしかないなのでよく考えたら**あまり得ではない**のでは…と
 あとで気がついたが、まあいいや。ガチでやって負けたら元も子もないしな。

もう1回 OGW ドラフト

16 時。これでもう最後かな…と思いつつ、最後のドラフトにエントリーする。ほどなく成立。

《押し潰す触手》 フォイル
《遺跡潜り、ジョリー・エン》
《廃集落》

獲得レア

1-1 で《押し潰す触手》フォイルが非常に綺麗だったので、それほど高いものでもないがピック。まあリミテでは、はまったらそれなりに強い。このため赤青の軽い呪文を中心に怒涛デッキを狙う…が、それほど強いデッキを組めたわけでもなく一没。まあ仕方ない。

17 時半、これで自分の G P メルボルンの対戦は終了した。

さらに友人からのプレイマットの追加購入なども行って、これでだいたい現金は尽きた。あと 150AUD。明日の観光の現金も必要だから、もう買い物は終わることにしよう。

プライズ・ウォールで交換できる賞品は…

これで結局、3 日間で獲得したチケットは 150 チケットになった（※）。じゃあやはりモダマス 3 パックと交換しよう…と思ったら、例によって「モダマスは終了」とのこと。えー。15 パック貰っても仕方ないし 100 チケットの賞品はしょぼいし、どうしたものか。

※実は後で書くように計算違いをしていたのだが。

そこで賞品リストをつらつら眺めると「200 チケット」の所に今年の GP シンガポールの「Mox Opal プレイマット」があることを発見する。あっ！これ欲しい！

チケットは他人には移すことはできないものの賞品引き換え時に複数人のぶんを合算して賞品を貰うのは O K なので、それでは会場の誰かから 50 チケット貰えまいか…と探すと、さわけんがまだドラフトを打っていて、しかも決勝まで進んでいた。

ドラフトの獲得チケットは 1 位 60 チケット、2 位 40 チケット。ということはつまり、さわけんが勝てばそれを強奪すれば 200 チケットを超える。勝てさわけん。**俺のために。**さわけんの対戦相手はマレーシア系？の現地の方だったのだが、日本語が堪能だったので

こうした僕らの会話を聞いてくすくす笑っている。

相手が「僕がチケットあげてもいいですよ」と言うので「そうですか！じゃあさわけん、勝たなくていいぞ」とかいう会話も交わしたのだが、なんか俺ひどい奴だな（笑）。

Mox Opalのプレイマットをゲット

それはそれとしてこのドラフトは結局、さわけんが勝利した。もう対戦は終わりなので、対戦相手の方と3人でいそいそと賞品獲得列に並び、自分とさわけんのカードを出して「200 チケットで Mox Opal プレイマットを！」と言うと「**足りません**」と言われる。あれ？…その後、自分の勝敗履歴を調べると、今日の最後のドラフトで一没したのを一勝したのと勘違いしていたことが判明（笑）。何てこった！まだ20 チケット足りない。ここでまだ一緒に行動していた対戦相手の方が「じゃあ僕の20 チケットをあげます」と申し出てくれる。何という親切な方だ。ありがたく頂戴して Mox Opal プレイマットをゲット！ 相手は残りで2 パックを獲得。さすがに「申し訳ないので10 ドルくらい貰ってくださいませんか」と申し出るも断られる。そこでふと鞆の中にあった今朝買ったチョコレート（未開封）のことを思い出したので、それを取り出して「ではこれなら貰ってくださいませんか」と差し出すと「あ、それなら貰います」と受け取ってくれた。にこやかに別れて終了。プライズウォールシステムは楽しいので、日本のGPでもやってくれないかなあ。

夕食はカンガルーのステーキ

これで18時半。もう会場を離脱して、夕食にすべき時間である。さわけん一行は今夜の便で日本に帰るので、22 時頃には空港に着きたいところ。

さわけんらが僕の計画していた「カンガルーのステーキ」に興味を示していたため、では

4人でカンガルーのステーキを食いに行こうということにした。

現在使用している Optus の SIM カードは「市内通話」も付属していることを思い出したので、昨日行き損ねた「The Meat & Wine Co」に電話し「今夜4名を予約」と伝えると「21時ならOK」との返事。うーん…ちょっと待ちすぎだし帰りの時間も心配だ。そこでこの予約は中止して、今度は「Rare Steakhouse Midtown」に電話。こちらは「19時30分に4名OK」とのこと。よし成立。

19時に4人で会場を出て徒歩で移動を開始。
急ぎならタクシーを拾っても良いのだが、多分30分あれば普通に到着する筈。
サマータイム1時間がある夏とはいえ、19時なのに、まだぜんぜん明るいなー。



近くの交差点で地図を見ながら「えーと」と立ち止まる場面もあったが、無事に19時半、レストラン「Rare Steakhouse Midtown」に到着。向こうはこちらを見るなり、名乗らなかったものの予約席に案内してくれた。うん知ってる。ここは、僕が昨日1人で来た店だ。**2日連続同じ店**のステーキ。

さっそく4人とも、カンガルーのステーキを注文する。あとはスープなど。

しかしそろそろ20時になるのに本当に明るいなあ。

やがて昨日と同じスープと、カンガルーのステーキが到着した。

噂のカンガルーの肉は、なるほどこれは調理が駄目だと臭みが気になる味だろうな…とも

思えたものの、そこは気にならない
よう味付けがしてあって、軟らかく
うまい。うん、これは頼んで正解。



料理を楽しみながら、さわけんらと
雑談。結論としては**メルボルンは
最高**という感想に尽きた。食費やら
宿代などがいささか高めな以外は

まったく不満なし。自分の場合は、ジェットスターの超過料金の件を除けばほぼ不満なく
楽しいだけの3日間でした。

これまでは南半球のG Pは眼中になかったけど、こりゃ来年以降も、リミテッドのG Pが
開かれるようなら参加はありかなと思えました。移動時間は1日余計にかかるけど時差が
ないから体力的にはまったく苦にならないしね。

60チケットのお礼に、さわけんの飯代2千円ぶんほどを自分が立て替えて決済。

メルボルンのエロ本

楽しい食事を終えて21時前にさわけんらと別れる。向こうもちょうど良い時間だろう。
現金もないし無理にカジノに行くこともないな…ということで夜遊びのあてもない自分も、
おとなしくホステルに戻ることにする。

帰りがけにセブンイレブンでエロ本を買って帰る。15禁の誰でも立ち読みできる本と、
ビニールで封がしてある18禁の本の2冊。値段はそれぞれ10AUDほど。残金70AUD。

ホステルに戻ると21時。今日のうちにマジック日記を書いてしまって、荷物をまとめて、
それからほぼノープランの明日の観光予定を立てよう。

とりあえず明日はほぼ現金は使わずに極力カードで済ませるミッションが追加。

まずはセブンイレブンで買ったメルボルンのエロ本を検分する。15 禁で、シールもなく
誰でも立ち読みできるエロ本に、~~まんすじ~~女性器が無修正で見えることに驚く。

15 禁でこれならビニールがかかっている 18 禁は当然ながら無修正なわけで…なるほど、
~~まんこ~~女性器がぱっくり開いていたり、~~ちんこ~~男性器が大写しだったり、~~はめはめ~~性器が
結合しているものは 18 禁なわけか。勉強になった。

さらにエロ本の表 4 にテレクラの広告が一杯乗っていたので、頼む気はないが実験として
スマホの無料通話をかけてみた。ダイヤル Q2（死語）のような通話時間課金（この SIM
ではつながらない）か 6 桁の番号を入れる（たぶん有料カード）方式なのでそこで終了。
料金は 1 分 3-4AUD くらい。どこの国でも同じだねこの手のエロ商売は。

ツイッターでも語ったこの内容がまとめられていました。 <http://togetter.com/li/948154>

じゅうたん商人

それから小一時間ほど日記を書いてから 23 時前にホテルを出て隣のスーパーで最後の
アイスとコーラ缶を買い、シャワーを浴びてからアイスを食べコーラを飲む。極楽。
それから日記の続きを書き、日付が変わる頃に書き終えたので、ノート P C の電源を切る。
あとはチェックアウトに備えての荷物整理と、明日の観光計画を立てて今日も終了である。

今日の荷物をチェックすると、2 枚手に入れた筈の Yee のプレイマットが 1 枚しかない。
認めたくないが会場で落とすか置き忘れるかをしたのだろう。残念だ。しかしレベッカの
プレイマットは自分のぶんを含め 12 枚あることを確認。rk Post のプレイマットは 4 枚。
あとは VIP プレイマット 1 枚で合計でプレイマット 18 枚。うん**あたまおかしい**（笑）。
とはいえ 1 枚 500g として、他の土産を含めても行きに 9kg だった荷物が帰りに 25kg
オーバーになることはさすがにないだろう。今度は空港で追加料金を払わずに済みそうだ。

明日の行動計画を立て終えて 1 時過ぎに就寝。

2016年3月7日（月） 観光日

7時に起床。最後の着替えをして、チェックアウトのために荷物をまとめ始める。作業 BGV が欲しくなったのでノート PC を起動して iTunes をかける。

トイレに注意書き。「使用済みのトイレットペーパーは流せ。横の汚物入れには入れるな。」その他。

たぶん台湾とかからの客がうっかりやってしまうのだろう。



荷造りでは、安定するプレイマット 18 枚とデッキケース類をバッグの底へ。さらに着替えた下着その他を詰めて蓋をする。

さらに 3 日分のゴミをゴミ箱近くへ置く。案の定、ベッドメイクとかゴミ回収とかは一切なかったな。残念だが、次にメルボルンに来ることがあっても、このホステルはもう利用することはないだろう。

あるいは長期滞在者向け安宿としてゴミ出しは自分でがこのルールなのかもしれないが。これで即座にチェックアウトする準備はできたので、8 時過ぎにいったんホステルを出て朝食にすることに。11 時のチェックアウトタイムまでタイムリミットは 3 時間。

QV で朝食

クイーン・ビクトリア・マーケットがやっていれば朝食を済ませてからたっぷり昼の雑貨ショッピングなどを堪能したところなのだが、残念ながら月曜は休み。このため朝の 8 時から開いているらしいショッピングモール「QV」に移動する。

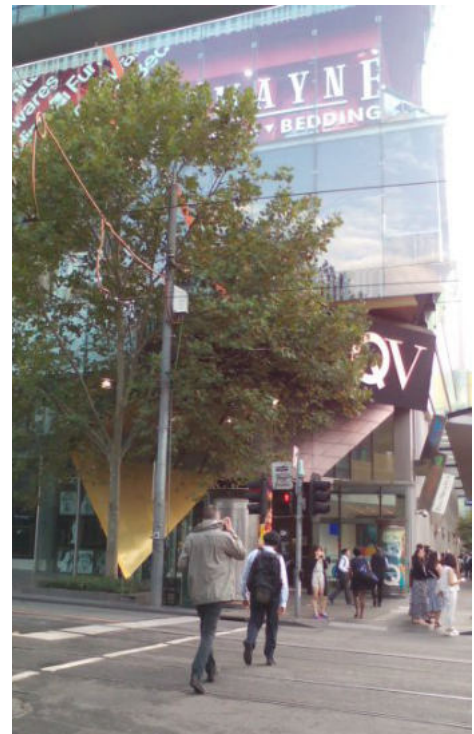
グーグルマップをチェックしながら目的地を目指して歩くと、ほどなく着いた。ここか。では朝飯だ。

モール自体は開いていたもののまだ準備中の店も多く、しばらくモール内を移動した後に屋内のカフェに決め、朝食をオーダーする。

オーダー後に「カードで」と言うと「うちは現金のみだよ」と言われる。しまった。オーストラリアはどこでもカードが使えるカード社会ではなかったのか。

ともあれ払う。ますます残り現金が乏しくなる。

ATMを使わずに今夜まで過ごすことができるかなあ。



朝食は、焼きたてのクロワッサンサンドとベーコンエッグマフィンとなみなみコーヒーで10.7AUD。うん、安い安い（メルボルン脳）。

朝食をゆるゆるおいしく済ませると9時を回る。朝の薬を飲む。

BIG W

QVの地下にある巨大スーパー「BIG W」へ。もともと事前に「ここにある珍しいチョコなどが土産にいいかも」という小ネタを仕入れていたのが、QVに来た理由だったのだ。



そしてBIG Wを一回りし、チョコ売り場も発見する。なるほどね…という感じはしたが、実のところ会社への土産はコンビニの「3袋で10AUDのM&Mなど」で済ませることを決めていたので、こんなものを買うには及ばない（笑）。

キッズ向けのコーナーもあったのだが、どうやらディズニーとアメコミしかない違和感。

そう、日本のオタクアニメがないのだ。ちょっと萌えが足りない街メルボルン。

何も買わずにBIG Wを出ようとしたら、係員から「背中のリュックを開けて見せてください」と言われる。ま、そりゃそうかな。快諾して開いて見せてから出る。

ホテルへ戻り、チェックアウト

QVで見る物もなくなったので、ゆるゆるホテルに帰ることにする。11時ギリギリまでチェックアウトを延ばす理由もないので、もう出てしまっただの観光に入ろう。

帰りがけに現地のCDショップを覗く。日本アニメの正規品BDなど発見。海賊版はない。

ガルパンやアルペジオがあればネタとして買うのもありだったのだが、なかった。

メルボルンはいい街なんだが、いささか hentai 的なオタク好みの猥雑さが足りないなあ。いくらコンビニで買える本でまんすじが見えていても、いくら「こいつら部屋でファックしてんだろうなあ」な野生の若いカップルで街が溢れていても、僕には**健康的**すぎる。10 時前にホテルに戻り、ひと息入れてから荷物を持って部屋を出て、チェックアウト手続きを済ませる。さらばエリザベス・ホテル。もう来ないと思うが。

サザンクロス駅のコインロッカーを利用

今日の観光ルートはやはりの「メルボルン博物館」からにしようと思っていたので、では移動するか…と思うも、20kg 近い荷物の重さにくじけて予定を変更。最初に、女房から存在を聞いていたサザンクロス駅のコインロッカーに夜まで荷物を預けることにする。

そこで流しのタクシーを拾ってサザンクロス駅へ。10AUD。惜しむ金額ではない。



サザンクロス駅に到着し、コインロッカーもほどなく見つかった。大型のロッカーは14AUD。ちょっと高いなと感じる金額だが仕方ない。地元民にやさしく観光客からはたっぴりと取るのがメルボルンのジャスティスなのだろう。

コインロッカーは端末で自動操作して決済をするシステム。荷物2つをロッカーに入れて番号をこわごわと入力してカードで決済するとロックがかかった。うまくいったようだ。レシートの暗証番号で解錠するようなので、この紙を無くさないようにしなきゃね。

フリートラムに挑戦

身軽になったので、まずはセブンイレブンで例のアイスバーを買ってひと息つく。ここは最初の夜にスカイバスを降りてタクシー乗り場に移動する際に通った店だと気がついた。ちなみにメルボルンでは「セブンイレブン」以外のコンビニは見ません。「スーパー」は非チェーン店のものがそこかしこにあるのですが。

アイスを食べながら、地図を見てメルボルン博物館行きのルートを検討する。距離にして2kmほどで身軽になった今は歩けない距離ではないしタクシーも利用できるだろうが、ひとつ「フリートラム」にチャレンジすることにする。現在11時。今日は他に行かねばならない場所があるわけでないし、失敗する時間はたっぷりある。

そこでサザンクロス駅を出てからスペンサー通りを北上し、東西を走るLa Trobe通りで路線トラムのホームを発見する。バス停と同様に何本もの路線で共用されるホームだが、日本で買った観光ガイドや、駅で取った無料トラム案内（こっちのほうが便利だった）を見返しつつ、緑の35番ルートが無料トラム路線であることや、無料トラムはワイン色の車両であることを確認して待つ。

少し待つうちに、西からワイン色の車両がやってきた。一緒に乗る他の客の様子を見て、特にマイキー（結局買わなかったが、メルボルンの交通カード）を出したりお金を出している様子がないことを確認し、まあ大丈夫だろうと自分も乗車。車内はほぼ満員。

ほどなく自分がこれまで毎日歩いていたエリザベス通り駅に到着。フリートラムは基本、

交差点ごとに停車して人が乗り降りする。次の駅名は電光掲示板に出るし、停留所は基本通りごとの名前なので、地図を見ていれば間違えようがない。こりゃいいや。

地図の通りエキシビジョン通りの駅でミュージアムがどうこうと聞き取れたアナウンスが流れたので下車して終了。もちろんお金を取られることもなく、ものの10分ほどの乗車で到着。



こりゃいい！ 帰りは逆方向のこれでスペンサー通りまで戻ろう。わざわざ自分で歩くとかタクシーを使うとかをしなくてチャレンジしてみて本当に良かった。

そしてつくづく「熟知している市民には安上がりだが観光客からはカネを取る」街であることよメルボルン。まあ結構なことなんだが。

メルボルン博物館



トラムを降りて北上し、メルボルン博物館へと向かう。王立展示館とカールトン・ガーデン敷地を横目に見ながらさらに北上すると、やがてメルボルン博物館の入り口を発見。博物館の入場料は14AUD。IMAXシアターはスルー。そして隣の王立展示館のツアーについても聞くと「本日は改装中」につきツアーなしとのこと。あら残念。

現在 11 時半。他の観光予定は入れていないので、今日は閉館の 17 時までここで過ごし
ても構わない予定で、たっぴりと博物館を楽しむことにする。

実際に、これから何時間かけて

- ・ 精神と肉体の部屋（2 階）：人体の解剖学的な写真とか昔の手術道具の展示とか。
- ・ 第 1 次世界大戦（2 階）：オーストラリア参戦史。勇ましかったり悲惨だったり。
- ・ 進化（2 階）：いろいろな珍しい動物の展示。定番。
- ・ オーストラリアの歴史（2 階）：ゴールドラッシュや 19 世紀の記録や再現模型や。
- ・ 最初の人間（1 階）：アボリジニの文化や歴史。
- ・ 鯨の骨格（1 階）：何十メートルかある。でかい。
- ・ 恐竜の骨と植物と地学（1 階）：定番。
- ・ 科学と生活（1 階）：これぞ博物館。

といった展示物をあれこれ楽しみましたし、その多くは写真つきでツイッターに上げたり
した（写真撮影は禁止ではありませんでした）のですが、本書でその面白さをそれほどに
伝えられるとも思えませんので、ざっくり割愛することにします。



（左）

「精神と肉体の部屋」の注意書き。
「裸・本物の人体部分・性的な内
容・出産・どうぶつ実験・死・病気
などの内容があるので注意」という
子供への警告看板。

ただし当然ながら、実際の館内では
ガキは大喜びではしゃぎまくり。

（右）

第 1 時世界大戦での、志願兵の募集
ポスター。いさましい。
しかしこの 2 年後のポスターでは…。



博物館を出る

1 時間半くらいかけて 2 階をゆっくり楽しんだ後で、13 時に足休めを兼ねて 1 階のカフェで昼食にする。

ビーフパイとレモネードで 9AUD。ビーフパイは意外に肉がみっしりで、さらに一個別のパンを頼まないで良かった感じ。そして 500 ミリペット 300 円はもう気にしない。

そして昼食後に 1 階を回り（順路的には 1 階が先だった模様）写真を撮っているうち、スマホのバッテリーが 10%を切ったという警告を受ける。

そしてスマホに携帯バッテリーを USB ケーブルで差しても、充電がされない。あれ？ これ**やばくね**？

異常がバッテリーのチャージ切れか、はたまたケーブルなのか。

何にせよスマホは見知らぬ地での生命線である。もう無くても帰国までは何とかできるけど、できればあと数時間の日記などは書きたい。

このため、いよいよの時のために 14 時にスマホの電源を落とし、博物館観光を中止して女房への土産のカンガルーのぬいぐるみを買ってから市内に戻ることにする。



メルボルン・セントラル駅

メルボルン博物館を出てフリートラムで西方向に戻り、15 時過ぎに途中のメルボルン・セントラル駅で降りる。ここなら携帯ショップのひとつもあるだろうさと思って探すと、ほどなくサムスンのショップを発見する。

不具合がバッテリーとケーブルのどちらだか不明だったのだが、ケーブルが 24AUD で、ケーブルとバッテリーのキットが 29AUD ということなので、キットをカードで購入。予想外のやや痛い出費。

さっそく交換したケーブルをバッテリーに差すと、果たしてスマホへの充電が再開された。ちくしょうケーブル故障だったか、とそのケーブルを怒りのあまりゴミ箱に放り込む。

ただしこれは「たまたま」そのタイミングでうまく刺さっていただけであり、ほどなくこの新しいケーブルでも充電に失敗していた事実が判明する。

故障したのはケーブルでもバッテリーでもなく、**スマホ本体**の端子部分だったのだ。このスマホは帰国後にただちに買い換えたのだが、捨ててしまったケーブルには、全くすまんことをした。

せっかくなのでメルボルン・セントラル駅のモール観光を一回り入れることにする。

現在 16 時。ここで 2 時間くらいの暇を潰してから 18 時頃にサザンクロス駅に戻り、あとはどこかでのんびりと夕食にして、22 時過ぎに空港に向かっても余裕のはずである。出発は明日の 0:55 の便なのだから。

このためアイスを食べたり、つらつら歩く。



そうだ、カジノ、行こう

ということであと 2 時間ほど、このメルボルン・セントラル駅のモールで暇を潰そうと思ったのだが、歩いていて **15 分もたたずに苦痛**を感じてくる。

このモールはいわゆるお上品なブランドショップばかり並んでいる所で、ゲームソフトを置いてある店がひとつあったものの、それとて特に何か買いたいものがあるわけもなく、見るべきものなし。ここであと 2 時間とか不毛だし無理。

このためメルボルン・セントラル駅を出て再度フリートラムのホームに向かう。

あと数時間いったいどうやって暇を潰そうかということで、やはり**カジノに行くしかあるまい**という結論になる。1000AUD ほども作った現金のほとんどがプレイマットに化けてしまったのでカジノで遊ぶ金はないのでパスかなあ、とも思ったのだが。カジノはメルボルンの南西部にある。このフリートラムは山手線のように市内をぐるぐる回っているので、南側のスペンサー通り駅まで 30 分ほど乗ってれば着くはずだ。ということでフリートラムに乗って、反対側まで回って南側のスペンサー通り駅を降りてからヤラ川の橋を渡って 17 時頃に市中唯一のカジノホテル「クラウン」に到着する。カジノはまあカジノなわけで、ぶらぶら歩いて中を見ているだけでも楽しいが、ブラックジャックのミニマム台は 15AUD ほどのようであり、うん、やっぱりちょっと無理。とはいえ何もしないで帰るのも寂しいので、手持ち現金 10AUD ほどをスロットマシンの 1 セント台に突っ込んだうえで、少し回して当然ほとんど当たらずにすって終了。

カジノ前のバーガーショップで夕食

そろそろ 18 時を回り、腹がすいてきた。夕食にしよう。カジノには併設してあるフードコートがあり、おもに中華系の料理が並んでいたのだが、当然ながらお安くもないしメルボルンでわざわざ中華を食べる気も起こらない。そこでカジノを出てサザンクロス駅に向かうと、目の前のバーガーショップ「MerryWell」(※)の看板が目をつけた。お値段も庶民的なセット料理のようだ。ここにするかと思い入店。カードでバーガーセットとコーラを注文する。

※ <http://www.themerrywell.com.au/>

写真が撮れなかったのが残念だが、非常においしいハンバーガーセットと山盛りポテトで、お値段も 20AUD ほどで十分に満腹の味と内容だった。満足して店を出る。

空港へ

食事を終えると 19 時。まだ 5 時間くらいあるものの、さすがに市内でできることはもう無いようだった。空港に向かおう。

夕暮れのヤラ川の風景を楽しみながら、のんびりとスペンサー通りを歩いて北上。涼しい川辺の芝生で寝っころがっているカップルを見て時間はあるし 1 時間くらい横になるのもいいかもなあ…でも万が一にも寝過ごしたらなあ、とか思い横にはならなかった。

ほどなくサザンクロス駅に着き、コインロッカーから荷物を回収して、カラコロを引いてスカイバスのチケットを 18AUD（カード払い）で買って乗車する。

何ごともなく 20 時には空港に到着。

ジェットスターのカウンターでどうやら自動でチェックイン手続きを行えるようだったが、プリントアウトのバーコードを機械にかざすと「21 時半まで待て」とのこと。

さらに隅に計量器があったので荷物の重量を測定する。2 つ合わせても 20kg を超えるか超えないかくらいだった。OK、25kg を超えることは絶対にならないな。

通信再開

まだチェックインまでも 1 時間くらいヒマなので空港内の施設を回る。書店で「数独」の本が売っていたので「あ、これはヒマ潰しにいいな」と思い購入。

さらに土産屋でウォンバットのぬいぐるみを発見。博物館で女房への土産にカンガルーのぬいぐるみを買ったわけだが、どう見てもこっちのほうがだいぶかわいいので購入する。

カンガルーのぬいぐるみは兄貴への土産にしよう（笑）。

さらに免税店で bolze.さんへの土産のワインを購入する。受け取りはイミグレのあと。

そして椅子に座って数独をしたりして眠気をこらえてぼーっとしているうち、やがて目の前の空港の広告掲示板で「空港 Free Wifi」の存在を知る。あ、その手があったな。

もはやスマホは電源が入らないが、荷物からノートPCを取り出してFree Wifiに接続。
20時45分に通信回復。だらだらツイッターの読み書きを再開して暇を潰す。

出国手続き

21時半になり、自分の便の搭乗手続きが始まった。ノートPCはリュックサックに入れたうえで、先の機械に行きプリントアウトのバーコードをかざし、パスポートをかざす。
荷物2個を指定していたため荷物タグのロールが2つプリントアウトされたので、これを荷物に通して貼り付けて係員に渡し、係員は重量を測定したのち受理。これで荷物は終了。
再び身軽になった身でイミグレに移動。セキュリティ検査ののち、自動改札の出国手続き。
例によって機械にパスポートをかざし、眼鏡を外して顔認証を行ったうえ開いたゲートを通って終了。人間との会話一切なし。
イミグレ後、指定の場所で先ほど免税店で購入したワインを受け取りリュックに入れる。
また機内で喉が乾かないように、飲み物を多めに購入。

離陸

22時10分には11番ゲートの前に到着した。搭乗まであと2時間くらいある。暇潰しに「数独」をしたりツイッターを読み書きしていたものの、いよいよ眠気を堪えるのが辛くなってきたので、椅子3つの空席に横になり**1時間ほど意識を失った**。
寝過ごしたら一体どうするつもりだったんだという話がないでもない（笑）。

そして目が醒めたらそろそろ日付が変わる頃であり、搭乗開始時刻まであと10分だった。
そして搭乗ゲートが18番に移動していた。ただちに移動。
ツイッターで「そろそろ接続を切ります。」とつぶやいてからノートPCを切る。
あとは何ごともなく搭乗し、0:55に定刻通りに離陸。

機内では離陸までの暇潰しとして「数独」をやっていたが、離陸したらあとは寝ていた。もとより寝ているべき時間であり、機内食の類もない。機内映画のラインナップは行きと同じだが、もとより映画を見る必要もない。寝るだけ。

2016年3月8日（火） 帰国と日常

なにげともなく寝ているだけで着く10時間のフライト。この便はいい。朝の9時（日本時間で7時）頃に機内が明るくなり目が醒める。朝食を事前注文した客に朝食が配られる。自分には当然なしだが構わない。もう眠くなかったので、例によってやっぱり「数独」をやって着陸までの時間を潰す。

予定通りに8時45分（ここからは日本時間で）に成田空港に無事に到着。入国手続きを終え、荷物を受け取り、総武快速で新小岩まで。

さすがに腹が減っていたので新小岩駅南口の松屋で遅い朝食ののち、タクシーで自宅へ。11時52分に自宅のPCで「帰宅なう」とつぶやき、これで自分のGPメルボルンは終了。

そしてシャワーを浴びて着替えてから、出国前に予約を入れておいた歯医者へ。歯医者を済ませた後は「休息・回復日」としてのんびり過ごす予定だったものの「スマホ故障」というイベントが発生してしまったため、午後にはヨドバシカメラに行ってSIMフリーのスマホを新調。面倒な手続きもいらずにSIMを差し替えるだけでそのまま新型が使えるのって、本当にありがたいですね。

最初にジェットスターに1万6千円も取られたのと、最終日にスマホが不良で思うように通信ができなかった以外は、およそ楽しいことばかりのGPメルボルンでした。また機会があれば、是非メルボルンには行きたいと思う次第です。

（完）



GP メルボルン 2016 参加記 (v1.01)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2016年12月7日 v1.0は2016年5月1日発行

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者 (ひろじ) について：

<https://twitter.com/kondohi> (ツイッター。最近はここメインです)

<http://otakutalker.diarynote.jp/> (ダイアリーノート。マジック関連はここで)